



野菜提案企業
株式会社
坂ノ途中



百年先も続く、農業を。
Agriculture, looking ahead 100 years.

Press Release

2017年2月15日

「Mekong Organic Project」2017年3月始動！

- ラオス北部で、アグロフォレストリーコーヒーの普及を目指すプロジェクト -



株式会社坂ノ途中(京都市南区 代表取締役:小野邦彦)は、2017年より、ウガンダに続く海外事業第二弾「Mekong Organic Project」をスタートします。(WEBサイト▶www.on-the-slope.com/mekong)

コンセプトは「百年先も続く、豊かな森をラオスから。」。ラオス北部に暮らす山岳少数民族とともに、彼らの伝統的な暮らしと豊かな森を未来につないでいくための農法として、アグロフォレストリーの考えを用いたコーヒー栽培の普及を目指します。

■ 課題意識

雄大なメコン川の上流に位置する東南アジア唯一の内陸国、ラオス。豊かな森に抱かれたこの国は「貧しくも飢えのない国」とよばれ、自然と共生した独自の暮らしを守ってきました。しかし、かつて国土の70%を占めていた森林は、今や40%以下にまで減少しています。伝統的に行われてきた焼畑は、急激な経済発展と人口の増加の中で、もはや持続可能な

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・安田

メール：info@on-the-slope.com

電話：075-200-9773

FAX：075-200-9774



野菜提案企業
株式会社
坂ノ途中



百年先も続く、農業を。
Agriculture, looking ahead 100 years.

農法ではなくなってきたおり、常畑化と代替換金作物の導入が急がれています。

こうした課題意識の中で、この度当社はアジア事業を行うための人材を確保し、2016年9月～2017年2月の期間で、経済産業省より「平成28年度途上国における適応対策への我が国企業の貢献可視化事業」の委託を受けて調査を行いました。

■ 事業内容

ラオス北部にて、アグロフォレストリーの考え方をういたコーヒー栽培の普及に取り組みます。「アグロフォレストリー」とは、アグリカルチャー(=農業)とフォレストリー(=林業)をかけ合わせた、「森をつくる農業」とも呼ばれる農法。適度な日陰を好むコーヒー栽培は、このアグロフォレストリーに適した農作物です。果樹などのシェードの下にコーヒーを植えることで、強すぎる日差しや寒波からコーヒーの木を守りつつ、豊かな森を守り育てることが出来ます。

メインの対象地域はルアンパバーン旧市街から車で1時間半ほど、標高800～1200mに位置する、山岳少数民族・モン族が暮らすロンラン村です。この村を含む周辺地域で採れたコーヒーを、2017年3月半ばに試験輸出し、当社の通販サイト及び自社店舗にて販売開始します。

■ 今後の展開

ロンラン村をモデルに、ラオス北部におけるアグロフォレストリーコーヒー栽培の普及を行いつつ、将来的には蜂蜜や茸、染料などの森の恵み(非木材林産物)を使った商品開発や有機野菜の流通、アグロツーリズムなど、「森」をテーマに幅広く事業を展開していく予定です。

■ 商品ライン

第一弾として販売を開始する商品ラインナップは、以下3種類を予定しています。

・ラオスの森コーヒー：ラオス北部、人びとが自然と共に生きる、豊かな森で育まれたコーヒーです。その完熟した赤い実を一つ一つ丁寧に手積みで収穫しています。深いコクとほのかな甘み、透明感のある後味が特徴です。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・安田

メール：info@on-the-slope.com

電話：075-200-9773

FAX：075-200-9774

・カスカラコーヒーチェリーティー：ラオス北部の豊かな森で育ったコーヒーの、真っ赤な果実（コーヒーチェリー）を丁寧に乾燥させてお茶にしました。杏のような、フルーティーな味わいをお楽しみください。

・ラオスのティピカコーヒー：ラオス南部ボラベン高原の肥沃な大地で大切に守り育てられてきた「ティピカ」は、コーヒー豆の原種にちかい希少な品種です。豊かな香りと果実感、やさしい甘みをお楽しみください。



■ 株式会社坂ノ途中 会社概要

環境負荷の小さい農業を営む若手農家や新規就農者を増やし、農業の持続可能化を達成することを目的として2009年7月に設立された企業です。

環境負荷の小さい、持続可能な農業を志し新規就農を目指す方は増えていますが、彼らが実際に就農し、農業を続けていくためにはたくさんの課題を乗り越えなければなりません。新規就農で確保できる農地は小規模だったり水はけが悪い等条件が良くないことが多く、彼ら/彼女らが栽培する農産物は少量不安定になりがちです。そのため一般的なバイヤーから見ると新規就農者は「つきあいにくい相手」と映ってしまうのです。

当社はこの問題を解決すべく、新規就農者を中心に100件程度の農業者と提携し、作付

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・安田

メール：info@on-the-slope.com

電話：075-200-9773

FAX：075-200-9774



野菜提案企業
株式会社
坂ノ途中



百年先も続く、農業を。
Agriculture, looking ahead 100 years.

けの計画から共に立てていくことで、一軒一軒では少量で不安定でも、グループ全体としてはまとまった数量を安定的に供給できるという体制を構築しています。

また、持続可能な社会のカタチを例示するべく 2012 年からはウガンダにて有機農業普及事業を、新規就農者増を加速させるべく 2013 年からは京都にて育成機能を持つ自社農場の運営を、2016 年からは生産者とバイヤーのマッチングのためのオンラインプラットフォーム事業をスタートさせています。

本社：〒601-8311 京都市南区吉祥院西ノ庄東屋敷町 126

代表者：小野邦彦(代表取締役)

創業：2009 年 7 月 21 日

資本金：250,130,000 円(資本準備金含む)

URL: <http://www.on-the-slope.com/>

事業内容:ハンドメイドな野菜の販売

自社農場「やまのあいだファーム」の運営

発展途上国での有機農業普及

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・安田

メール：info@on-the-slope.com

電話：075-200-9773

FAX：075-200-9774